

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和5年度)

1 施設の概要

施設名称	大内高齢者生活支援ハウス高台苑
所在地	由利本荘市岩谷町字ハケノ下58番地
設置年月日	平成3年3月
施設の設置目的・概要	市の高齢者に対して介護機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者に対する福祉の増進を図る
建物・設備の概要	

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘市社会福祉協議会	所管課	
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 施設の運営に関する事 (2) 施設の維持に関する事		
指定管理料	6,466,000	円	

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保				
サービスの向上				
管理経費の向上				
適正な管理運営				

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A

	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A
--	--------------------	---	---

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	B	B
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

職員研修について、施設職員としての一般的な研修には計画的に取り組んでいるが、対象サービス（生活支援ハウス）に特化した研修は行っていかったため、評価が「B」となった。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和4年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市大内地場産業振興施設
所在地	由利本荘市岩谷町字西越45番地1
設置年月日	平成17年12月22日
施設の設置目的・概要	市の農林水産物等の開発・製造・販売を促進するとともに、地域住民が持つ技術を活用した食品の提供及び展示、地域の観光イベントに関する情報の発信を通じて、流通、消費の拡大及び地域間交流の促進を図り、もって地場産業の振興、地域イメージの向上及び地域活性化に資すること。
建物・設備の概要	由利本荘市大内地場産業振興施設

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社大内町交流センター	所管課	大内産業建設課
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の管理及び運営		
指定管理料	1,057,776円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の平等使用の確保	利用者によって価格、接客サービスに格差がないように、同様施設の見学や情報交換を通じて全ての利用者が平等に、快適に利用できる運営を心がける。	-	-	A
サービスの向上	定期的に市場調査を行い利用者に満足していただける価格設定を心がける。苦情、提言は迅速に対処しサービスの向上に繋げる	-	-	A
管理経費の向上	サービスの提供が不十分なものにならないよう留意しながら、経費削減を徹底する。	-	-	A
適正な管理運営	法人会計の原理原則を堅持し、法令を遵守しながら社員の労働環境を維持する。災害時にも即時対応できる体制を維持する。	-	-	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A

施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い計画通り運営できた。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和4年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市大内道の駅周辺施設
所在地	由利本荘市岩谷町字西越36番地
設置年月日	平成12年4月25日
施設の設置目的・概要	市民の心身の健康増進及び都市住民との交流並びにコミュニティ活動の助長を図り、ゆとりある市民生活の実現と福祉の向上を目的とする
建物・設備の概要	由利本荘市総合交流ターミナル温泉宿泊施設「ぼぼろっこ」 由利本荘市大内総合交流ターミナル「ぼぼろっこ」 由利本荘市大内多目的広場 由利本荘市大内交流広場

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社大内町交流センター	所管課	大内産業建設課
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の管理及び運営		
指定管理料	21,485,648円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	平等性の確保に細心の注意を払い有効活用していただくため市民のレクリエーション活動の一助となるような充実した運営を心がける。	-	-	A
サービスの向上	社員一人一人の資質向上を図りながらお客様に、より安全安心な商品を真心を込めて提供する。	-	-	A
管理経費の向上	原価率の維持と光熱費への転化のため販売価格の見直しを欠かさない。退職者の補充を行わず人件費の節減に努める。	-	-	A
適正な管理運営	売上増加、経費削減により黒字経営を目指す。法令を遵守し、クレームは即時対応する。	-	-	B

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A

平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	S	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	B
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	S	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	B

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	B
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	B	B
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

概ね事業計画書の計画通りに運営できているが、売上不足、経費増から財政状況が悪化している。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率	130%以上
A	達成率	90%以上 130%未満
B	達成率	60%以上 90%未満
C	達成率	60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和4年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市折渡休憩所
所在地	由利本荘市岩谷麓字折渡12番地3
設置年月日	平成7年4月1日
施設の設置目的・概要	地域レクリエーションや多面的機能を有する間伐材の普及振興を図り市民の健全な心身の増進及び生活の向上に資するため。 折渡地蔵尊は大内地域の観光名所の一つ。参拝者など来場者の休憩場所。
建物・設備の概要	木造一部鉄骨2階建て

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	大内町観光物産協議会	所管課	大内産業建設課
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の開閉や掃除など施設の運営や維持管理、土産品販売など		
指定管理料	2,500,000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	本施設は恵まれた自然の中で、市民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動のための利便を図り、ゆとりある市民生活の実現に寄与することを目的に設置されたものである。	-	-	A
サービスの向上	1月の初地蔵かんじき詣りに始まり、7月23日の宵宮、24日の例大祭など1年中千体地蔵、六地蔵を通して市民の交流や情報の交換、観光振興の観点からも適切な運営に努める。	-	-	A
管理経費の向上	間伐材による木の温もりを大切に、誰もが気軽に立ち寄ることのできる懐かしさの漂う施設にする。	-	-	A
適正な管理運営	平成7年度より市(旧大内町)と委託契約を結び、管理業務を遂行してきており管理についての実績がある。	-	-	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A

平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率	130%以上
A	達成率	90%以上 130%未満
B	達成率	60%以上 90%未満
C	達成率	60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和4年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市ばぼろ健康運動公園総合体育館・スポーツ広場
所在地	秋田県由利本荘市岩谷町字西越62番地
設置年月日	平成17年
施設の設置目的・概要	市民の活動交流拠点として地域交流の促進と賑わいの創出
建物・設備の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館 鉄筋コンクリート造一部3階建(地上2階・地下1階) 建築面積 4462.91㎡(延床面積 5.864㎡) ・スポーツ広場 面積 4.677㎡ * 附設トイレ1棟 床面積 55.86㎡

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	ミズノスポーツサービス株式会社	所管課	東日本営業部
指定期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日		
指定管理業務の内容	由利本荘市ばぼろ健康運動公園総合体育館・スポーツ広場の管理業務		
指定管理料	35,595,000円(消費税込み)/年		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	<p>市民の平等利用の確保については、以下の方針と施策を打ち出しています。</p> <p>① 誰もが平等、公平に利用できる機会の提供</p> <p>② 誰もが安全かつ快適で利用しやすい環境の提供</p> <p>③ 誰もがわかりやすく、伝わりやすい情報の提供</p> <p>④ 誰もが参加できるプログラム・多世代の多様なニーズに応えるプログラムの提供</p>	<p>稼働の低い室場の利用促進策として、プログラムの増発をおこない、稼働率向上を図る。</p> <p>令和4年度目標</p> <p>稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインアリーナ 50% ・サブアリーナ 47% ・会議室 25% ・スポーツ広場 7% 	<p>稼働率実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインアリーナ 55% ・サブアリーナ 42% ・会議室 30% ・スポーツ広場 10% 	A

サービスの向上	サービスの向上については4つのアクションプランを策定しています。 プラン①利用者満足度を高める利便性の高いサービス提供 プラン②市民に情報を漏れなく伝える広報宣伝の実施 プラン③地域で活動する団体と連携した施設利用促進 プラン④市民の活気づくりをサポートする自主事業の実施	サービス向上の指標として、令和7年度までの目標利用者数を設定しています。 ・令和4年度目標利用者数 53,500人	利用者数実績 44,341人	B
管理経費の向上	管理経費の削減策として以下に取り組んでいます。 ・軽微な修繕の内製化を促進 ・待機電力の削減 ・多能化社員の育成による業務効率化	—	—	—
適正な管理運営	・個人情報漏洩防止策の徹底 ・個人情報保護徹底の為の教育研修	個人情報保護条例をはじめとする関係法令など、情報漏洩を未然に防ぐためのスタッフ研修教育を計画し実施しています。	令和4年研修実施計画書記載	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和4年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市 B&G 海洋センター (大内)
所在地	由利本荘市中館字堤台2番地
設置年月日	
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	25m プール、幼児用プール、艇庫

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社サンアメニティ	所管課	文化・スポーツ課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	プール、艇庫の運営管理		
指定管理料	26,400,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	B	B
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

施設の老朽化に対策、光熱水費高騰への対策、海洋センター独自の資格所有者の育成の必要性。人件費高騰による委託費（特にプール上屋設置撤去）増加への対策。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている